



東北・福島+埼玉=福の玉 が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますように...

6 夏も
間近の
月号

福玉便り

2014年6月1日(日)発行

ふ く た ま だ よ り

通巻 第25号

発行:『福玉便り』編集委員会 (一社)埼玉県労働者福祉協議会・NPO法人ハンズオン埼玉・生活協同組合コープみらい埼玉県本部

編集デザイン:NPO法人ハンズオン埼玉 メール:fukutama@431279.com

連絡先:(一社)埼玉県労働者福祉協議会:〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6丁目4-21 TEL048-833-8731

印刷協力:富士ゼロックス埼玉 端数倶楽部

マツダオールスターゲームご招待



7月18日(土)午後6時プレイボール

西武ドーム球場 ※現地集合・現地解散

日本プロ野球機構様から、2014年オールスターゲーム第2戦(所沢市・西武ドーム)に、東日本大震災により埼玉

県内に避難されている皆様を対象に500名のご招待を頂きました。福島県だけではなく、岩手県・宮城県等の被災者の皆様にもお申込み頂きたいという主催者の意向がありますので、多くの皆様のお申込みをお待ちしています。

●備考

①お申込みは、一家族4名様までとなっています。

②現地までの交通費は、参加者負担となります。

③越谷市(さいたま市経由)、加須市(上尾市経由)から貸切バスを運行します。(参加費……大人1,000円・中学生以下無料)

●お申込 お申込みは、2014年6月10日午前10時から6月26日(木)までの平日の午前10時から午後5時の間にお願い致します。お申込みが500名を超えた場合は抽選となります。048-833-8731(埼玉労福協)



進学教育説明会



●日時: 6月15日(日)14時~16時30分

●会場: ときわ会館 5階・中ホール

●内容: 東日本大震災・福島第一原発事故により広域避難されている中学生(小学生)のお子様をお持ちのご両親、ご本人を対象として開催します。埼玉県教育委員会の進路指導担当者や、避難して昨年・今年にお子様の進学を経験した方から、ご報告を伺います。

●主催: (一社)埼玉県労働者福祉協議会

●後援: 埼玉県教育委員会

埼玉県内に避難されている方、みんなでいっぱい話しましょう

あつまれ東北人!福玉サロンin所沢

6月18日(水)11:00~14:00

ミニコープこぶし店(予定) 埼玉県所沢市こぶし町19-29

浪江町復興支援員と埼玉労福協、コープみらいが中心となって開催している「福玉交流サロン」。今回は所沢市での開催です。お友達、家族や知人を誘ってぜひお出かけ下さい。

狭山茶の茶摘み体験しませんか

埼玉労福協が関わる「ネットワークSAITAMA21運動」が主催する「茶摘み体験ツアー」を開催します。広大な入間市の茶畑の中で、「二番茶の茶摘み〜手作りの製茶」を体験し、煎茶による茶会で「新茶」を味わいます。



●日時 6月28日(土) 午前11時集合(雨天決行)

●会場 入間市博物館~埼玉県製茶研究所~「茶席」(入間市)

●お申込 6月2日(月)午前10時~6月20日(金)

048-833-8731(埼玉労福協)

●備考 さいたま新都心から貸切バスを運行しますのでご利用下さい。

WATER ADVENTURE 東京サマーランドにご招待

7月26日(土) 先着順に300名 西部第四地域労福協が主催する「サマーイベント(東京サマーランド)」に300名をご招待します。



●日時 7月26日(土) 午前10時集合(雨天決行)

●会場 東京サマーランド(東京都あきる野市) 現地集合

●お申込 2014年7月1日(火)午前10時から7月17日(木)まで先着で受け付けます。お申込みは、平日の午前10時から午後5時の間にお願い致します。先着300名に達した段階でキャンセル待ちとなります。

048-833-8731(埼玉労福協)まで。

●備考 現地までの交通費は参加者負担となります。

新宿区・都営百人町アパートの「さんさん広場」

福玉編集部の原田は、この春から立教大学・新座キャンパスの教員になりました。そこで出会ったのが、東京都新宿区・都営百人町アパートの避難者交流会で学生ボランティアの引率をされている、大学院生の大口さんです。大口さんのご案内で、5月10日（土）の交流会にお邪魔してきました。

やかに行われました。子どもたちは室内遊びでは飽き足らず、すぐに外に出て、バスケットボールや水鉄砲で大学生のお兄さん・お姉さん相手にはしゃいでいました。また、集会所の中では、あちこちでお茶を飲みながら参加者同士や学生と会話が進み、いわき市出身の大学生と地元の思い出話に盛り上がりたりしていました。

百人町アパートでは、約300名の方が避難生活を送っており、その多くが避難指示区域外からの「自主避難」です。

大口さんによると、この交流会では当初は避難した方々の「定住支援」を目指していましたが、福島に帰る方も少なくないため、現在は避難生活が少しでも居心地良くなるような「在住支援」を目指しているそうです。また、避難した方々への支援に留まらず、地元の方々も含めた「地域コミュニティの活性化」を目標にしているとのこと。今後、「さんさん広場」など東京都内の交流会の様子を随時お伝えしていきます。（編集部 原田）



2012年1月に立教大ボランティアが47人、避難者

の方々との地元の方々が27人と、大勢の参加の場とで賑

この日の交流会では、学生ボランティアが47人、避難者の方々との地元の方々が27人と、大勢の参加の場とで賑

栃木県市貝町「分譲宅地」提供と現地見学会の開催について

栃木県市貝町が、「福島第一原発事故で避難している福島県民の皆様が市貝町にある『みどりの森(分譲宅地50区画)』を無償提供する」と発表しました。同町の入野町長は、「避難元へ帰還できるまでの一時期を『福島県民のコミュニティを維持したまま』市貝町で生活して欲しい」と、提供の理由を述べています。さらに、「友人、親せきや元のご近所同士など、まとまって来ていただくと有難い」とのことです。百聞は一見にしかずということで、「現地見学会」を開催することにしました。

- 日時 7月15日(火) 午前9時さいたま新都心出発
- 会場 栃木県市貝町「役場～分譲地・みどりの森～道の駅～益子町」
- 参加費 大人1,000円程度(昼食代など)
- 募集人員 40人
- お申込 6月17日(火)午前10時から7月7日(月)まで先着で受付けます。048-833-8731 埼玉労福協まで

政府出資の原子力損害賠償支援機構による原子力損害賠償の説明会・相談会

- ◇開催日 7月27日(日) 時間等未定
 - ◇会場 坂戸市文化施設オルモ(予定)
- 詳細次号にてお知らせします。自主避難の方も賠償の対象になることがありますので、ぜひお越しください。

埼玉県に自主避難中のみなさまへ

埼玉では、埼玉県の自主避難ママのネットワークづくりを目指したいと思っています。自主避難のお母さん&子どもたちの「イベント&冊子作り」を計画していますので、ご意見、ご要望、ご興味のある方は、どうぞご連絡ください。

(伊藤 070-6651-9259)

まずは、8月と1月に親子で楽しめるイベントを開催する予定です。ぜひ、ご参加ください。

く東日本大震災からうまれたお店く

京都・キッチンNagomi (なごみお)

先々月号で紹介した JCN(東日本大震災支援全国ネットワーク)の会議でお会いした「キッチンNagomi (なごみお)」の理事さんにお話を伺ってきました。

「キッチンNagomi(なごみお)」は京都駅からバスで5分ほどのところにあります。古民家を改装したコミュニティ・カフェ(お昼)兼、居酒屋(夜)で、温かい雰囲気のお店です。二階はお座敷になっていて、赤ちゃん連れのお母さんの集いの場になっています。

お話を伺ったのは、このキッチン

を運営する「NPO法人和」の理事を務めていらつしやる鶴(とき)さん。ご自身も宮城県のご出身で、震災・原発事



故にとっても胸を痛め、震災直後は物資を運ぶために南相馬市に通っていたといえます。

その後、京都で、代表・大塚さんと出会い、鶴さんは「和」の理事として、今に至ります。

「和」では、震災1年目はサロン活動を、2年目はお店(キッチンNagomi)をオープンさせ、また津波被災地では一時保育室を運営しています。

お話を伺った中で、とても印象的だった言葉があります。

「避難された方のために何かお手伝いをして、よりよい世の中にしたい」と思っていたのが、いつの間にか『地域の人を通いたくなるような、おいしい唐揚げを作らなくてはい』という真剣な気持ちになっていて、何をしているのか、よくわからなくなっています(笑)」

避難されている方を十数人雇用しているので、それを維持することに真剣なのだそうです。

それは、支援側である鶴さん



だけではなく、スタッフとして頑張っている、避難されている方も、同じ気持ちなのだとか。

たとえば、いわき市から母子避難しているママは、震災前から得意だったシフォンケーキ作りの腕前を發揮。いまでは、「Nagomi」の主力商品になり、とうとう、テイクアウトができるように体制を整えたそうです。

また、美容師でもある避難中のママが、Nagomiの場を借りて、ヘアカットをしたこともあったとか。

「自分の居場所」「生きがい、やりがい」に少しでもつながってほしい、と鶴さんは言います。

お話の途中、代表の大塚さんも顔を出してくださり、運営する側の想いを語ってくださいました。

「人生の再構築、日常をつく

り直す、ということのお手伝いをしたい」と大塚さんは言います。

1年目にやっていた復興サロンも人が減り、「もうやめようかな」と思ったことがあるそうです。そんなとき、ある一人の方に「サロンはやらなくてもいいから、電話番号は残しておいて。駆け込み寺になるから」と言われたことが忘れられないと言います。

「毎月お便りが来ること」「いざというときに電話をする場所があること」は、いつも案じているよ、という一番のメッセージなのかもしれません。

「今はとてもそんな気持ちにはなれないと思うけれど、いつか『失ったものもあつたけど、得たものもあつたかもしれない』と思ってもらえたら・・・」

そう、お話ししてくださいました。(編集部・伊藤)

県民健康調査 甲状腺検査結果の詳細がこれまでより簡単に取得できるようになりました。

福島県が実施している県民健康調査の甲状腺(超音波検査)の結果が郵送で通知され、さらに詳しい情報についても、以前より簡単な手続きで取得できるようになりました。

これまで、検査で撮影した画像を見たいという時など、福島県の個人情報保護条例に基づくと複雑な手続きを踏まなければなりません。

子どもたちの将来を見守るためにも検査結果をしっかりと把握しておきたいという声にこたえ、6つの市民グループ(注)からなる「子どもと放射能対策の会」が、福島県と県立医大に

対して、甲状腺検査の判定結果の基になる「検査レポート」と「画像」をもっと簡単な方法で請求できるようにと要望し、粘り強い交渉や活動の結果、昨秋、簡易請求が認められました。

具体的な手続きの流れにつきましては、こちらの案内をご覧ください(PDFファイル)
<http://goo.gl/O2rRpK>(日本消費者連盟サイトなど)
生活クラブふくしま生活協同組合TEL.0243-63-1050

公営住宅 県及び10市町村 合計	242人	114戸
雇用促進住宅 6市町村 合計	1,890人	707戸
UR住宅 3市町村 合計	348人	128戸
国家公務員住宅 県及び5市町村 合計	152人	47戸
民間賃貸住宅 県及び2市町村 合計	52人	18戸
その他住宅2市町村合計	70人	23戸

避難住宅、どの管轄でどうなっているのかご存知ですか？

みなさんがお住まいの住宅が、どの管轄で、どのように管理されているか、ご存知でしょうか。実は、震災から3年2か月が経つ今なお、避難されている方々の正確な人数が不明であると同じように、避難住宅についても、不明な点、整理されていない点があるということが、今回、福玉の記事のために取材をする中で、わかってきました。

少しややこしい問題なので、整理をします。

埼玉県には、現在、

- (1)「公営住宅」
- (2)「民間借り上げ住宅」
- (3)「国家公民宿舎」
- (4)「雇用促進住宅」
- (5)「UR住宅」

この5つで避難された方の

住まいを提供しています。その他として、「民間借り上げ社宅」というケースが2か所、あるそうです。

避難住宅の手続き(福島県や国とのやりとり)に關してはほとんどが埼玉県が行

ていますが、震災直後の混乱の時期に、県の代わりにいくつかの市町村が先行して手続きを行ったところがありました。そういった市町村が、現在に至るまで、手続きを行っているという現状があります。

もしかしたら、「避難住宅のしおり」といった類のもの

必要になるかと思えますので、通知など来た場合には、大切に保管しておいてください。

次に埼玉県が発表している、住宅の区分けに沿ってご説明します。

(1)「公営住宅」については、埼玉県および、10市町村(さいたま市、熊谷市、川口市、所沢市、飯能市、東松山市、羽生市、越谷市、入間市、越生町)が福島県との窓口となつて対応しています。

(2)「民間賃貸住宅」については、埼玉県及び2市町村(狭山市と吉見町)が窓口となつて対応しています。

(3)「国家公務員住宅」については、埼玉県及び5市町村(草加市、新座市、坂戸市、ふじみ野市、杉戸町)が窓口となつて対応しています。

(4)「雇用促進住宅」というのは、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構という厚労省の關係機関が管轄です。そこから、管理委託として、「SK総合住宅サービス協会」というところが、受託して避難支援を行っています。

一番、把握されにくい状況が生まれています。避難していることが明確であるにも関わらず、県発表のデータには、それが載っていないという地域がありました。おそらく、事故直後の混乱を引き摺ったままなのかもしれません。

(5)「UR住宅」については、雇用促進住宅については、埼玉県及び6市町村(熊谷市、秩父市、東松山市、深谷市、毛呂山町、小川町)が窓口となつて対応しています。

(6)その他住宅については、民間借り上げ社宅、というものことだそうです。要は企業が社宅をまるごと、借り上げ住宅にしてもいいですよ、というケースのこと。

こちら、埼玉県及び2市町村(春日部市、鳩山町)が窓口となつて対応しています。

ちなみに、災害救助法の適用の期間延長が、「1年ごと」というのは、阪神淡路大震災のときの特別措置に関する

法律で決められていました。それは、当時、阪神淡路大震災の被災地に対して「3年くらいあれば復興できるでしょう」という考えがあったと言われています(実際の復興はそんなに早いものではありませんでした)。

それこそ、原子力災害はたった3年・5年で復興ができるほど、単純なものではありません。法律を、原子力災害に対応するようにきちんと整備していくことが求められています。

内閣府と福島県との協議は、今なお続いています(5月14日現在)。平成27年3月以降の住宅提供がどうなるのか、通知が発表され次第、福玉便りにも掲載させていただきます。

住宅の問題は、暮らしの基盤・命の問題でもあります。今後、調査を継続し、ご報告したいと思えます。

(避難住宅について、知りた
い情報、調べてほしいことな
どがありましたら、どうぞご
連絡ください!伊藤070-
6651-9259)

復興公営住宅モデルルーム見学ツアー

5月9日(金)、東松山市方面やさいたま市・越谷市などから総勢30名ほどで大型バスを借り切つての、のんびりツアーでした。



下神白団地 左奥トラックの向こう、白い囲いの奥が建設予定地



ら・ら・ミュウからほど近いモデルルーム展示場

は親戚がた
くさんいる
ことと、二
本松の仮設
に義母と隣
接して住
み、浪江高
校のサテラ

出発するときには五月晴

れの気持ちよいお天気でし

たが、最初の目的地・かんぼ

の宿で昼食をとり、お風呂

休憩をしている間にみるみ

る雲行きが怪しくなり：雷

まで鳴り始める急転ぶり。

建設予定地に降り立って見

学することは叶いませんで

したがモデルルームに着く

頃にはややおさまり、いわ

き市小名浜下神白に建設予

定となっている公営住宅の

2DK、3DKの2つのパタ

ーンを見学しました。

モデルルームの係員さん

によると「平日でも50組程

度、休日になると県外から

も100組程度、若い人もいら

っしやいます」とのこと。

車椅子対応の広々とした

玄関、ついつい多くなつて

しまうモノの収納も充分に

あり、

「申し込んでみようと思

います。子どもたちは独立し

ましたが帰ってくる場所

として多少広さは欲しいか

な」と具体的に考えられる

ようになつたという方(春

日部市ーさん)や、「シエ

ハウスつていうのもいいわ

よね」(さいたま市 S

さん)「図面で見ると実際に

見るのとでは大違いだね」

(越谷市ーさん)「夫婦と末

息子、実母、独立した娘家族

で埼玉の借上げで暮らして

いました。福島に

イト校に一人で通つ

ていた次女が、卒業・

就職して埼玉に出て

きて「やっぱり福島

の空気があつてい

る」と帰りがつて

いること、末息子も野球が

やりたくて小高工業高校の

寮に入ったということがあ

るので、できたら福島県内

に戻りたいと思つている。

でもこれから一生のことだ

からなかなか決断できない

ですね。幸い津波で家族を

亡くしたことはありません

でしたが、いちばんの被害

者は次女かもしれませぬ。

(東松山市 舛倉さん)とい

声も。

一方、小さなお子さんのい

る参加者からは「やはりま

だまだ子どもにとっては線

量が心配なので、申し込む

予定はない」(所沢 Sさん)



問い合わせ

福島県復興公営住宅
入居支援センター
024-522-3320

(平日8:30~17:15)

*対象は23年3月11日当時、富岡・大熊・双葉・浪江・飯館に居住していた方です。募集から入居までのスケジュール、間取り、建設予定地の地図、家賃の説明・申し込み書式などがまとめられたパンフレットもあります。第二期募集は平成26年秋頃に予定されています。



3LDKタイプ(74.6㎡)
広い玄関から手前両側
が洋室2室、中にトイレ・
洗面・浴室、正面は
LDK対面式キッチン、右
手奥に和室

など受け止め方は様々で
した。

その後、いわき・ら・ら・ミュウでお土産を買ったりしたのち、帰路のバス車内は、カラオケで盛り上がりました。

今回の企画はさいたまに避難中のKさんの「モデルルーム見に行くことはできないですかね」という一言から実現したもの。主催した労福協の永田さんは、「今後も、芸達者な浜通の皆さんとの文化祭や若手のポウリング大会など企画していきますのでやってみたいこと、教えてください。」とのことでした。(編集部・谷居)

原発被災者の住宅確保を
求める院内集会

5月14日に表記の集会が参議院議員会館で開催され、白河市から埼玉県上尾市に避難されている富永まゆみさんも発言くださいました。

今まで無償だった駐車場の料金は、民間の管理会社に変わるので、突然、払わなくてはならなくなりました。いろいろお世話になってるから、いつまでも甘えてばかりはいられないので仕方ないかと思つたのですが、「まてよ。むこうで住んでいたら、必要なかったこと。自主避難ってなんなんだろう…」と考えてしまいましたが、「どこまで自分たちの生活を自分たち自身で支えて行けるのだろうか」ということを不安に思うことがあります。住み替えができるようにしてほしい、最低でも半年前には、通知がほしい。同じ団地には、転居が2回目になるので、家賃が免除されていない人がいます、仕事や子供の進路のためなど家族を守るために家族の実情で転居するのですから、回数は関係なく一律の期間での保証をお願い致します！先に進むためには安定した住まいが必要です。

地域の方みんなが参加できる 交流の場をつくりたい

■仮設住宅と借上げ住宅の枠を超えて

コープふくしま・コープみらいにより、福島県郡山市日和田の仮設住宅で行われている交流サロンについて紹介します。

被災地では、人びとが交流するための場づくりが進められています。参加者が固定化してしまうことが課題の一つとなっています。コープみらい・コープふくしまが企画する交流の場では、一般的

に仮設住宅近隣の借り上げ住宅に住む方も来やすいよう、工夫が凝らされています。

って現れ、15匹のアジを巧みな手つきでさばいていました。他の男性参加者は、アジの骨をとったり、ちらし寿司に載せる錦糸玉子を焼いたり、飾りサーモンを巻いたり、慣れない料理に苦戦しながらも、男性同士楽しそうに話しながら調理をしています。



参加者からのヒントをもらい場を創造しています。そのことが参加の輪を広げ、仮設と借上げ

の線を消して、元の町の仲間同士が交流できる場になっているのではないのでしょうか。

ひなまつり企画に参加していた、近隣の借り上げ住宅にお住まいの方からは、「仮設住宅の方向けの企画はたくさんありますが、借り上げの住宅に住む人も参加できるイベントはあまりありません。こつやつて呼んでいただけるとはとてもありがたいです」といった声が出ていました。

■一人ひとりのやりたいことをサポートしていく

先月は、参加者の提案で、仮設住宅の外に出て、ボウリング大会も行なわれました。

「みんな何かしらやりたいことがあるはずですよ。それをサポートすることが大切」と支援を継続的に行っている生協職員は考えています。たくさんの方と交流し、目標を持って次のステップに進みたいと思えるような場をつくられたらと毎回、

「みんな何かしらやりたいことがあるはずですよ。それをサポートすることが大切」と支援を継続的に行っている生協職員は考えています。たくさんの方と交流し、目標を持って次のステップに進みたいと思えるような場をつくられたらと毎回、



その男性は、自前の包丁を持

「みんな何かしらやりたいことがあるはずですよ。それをサポートすることが大切」と支援を継続的に行っている生協職員は考えています。たくさんの方と交流し、目標を持って次のステップに進みたいと思えるような場をつくられたらと毎回、

一つの仮設住宅というコミュニティだけでなく、外に広がり、住民一人ひとりがその地域で住みやすくする取り組みが、ボランティアらの思いとともに広がっています。(コープみらい／編集部・福岡)

埼玉訴訟集会・相談会

原発事故責任追及訴訟埼玉弁護団は平成26年3月10日、さいたま地方裁判所に対して、国と東京電力を被告とする損害賠償請求訴訟を提起しました。

弁護団では、この訴訟が、全国にいる本件事故の被害者に対する救済と、国や電気事業者が押し進めようとする安易な原子力政策を見直す契機になればと考え、勝訴に向けて一丸となって進んでいくことを決意しています。

今後も、避難区域内外を問わず、第2次提訴を行っていく予定です。

この訴訟の報告集会、及びこの訴訟を応援して下さっている市民の皆様による「福島原発さいたま訴訟を支援する会」の結成集会の後、当弁護団は、原発事故の損害賠償に関する個別相談会を実施します。

訴訟に興味のある方、損害賠償手続きでお困りの方は、是非ご参加下さい。

《原発事故責任追及埼玉訴訟 第1回口頭弁論》
日時：平成26年6月18日（水）午後2時
場所：さいたま地方裁判所 101号法廷

《埼玉訴訟 報告集会、支援する会結成集会》
日時：平成26年6月18日（水）午後3時頃～
場所：埼玉弁護士会館

《原発事故損害賠償 個別相談会》
日時：平成26年6月18日（水）午後6時頃～
場所：埼玉総合法律事務所

◆お問い合わせ・参加申し込み窓口
原発事故責任追及訴訟埼玉弁護団 事務局
吉廣慶子（みさと法律事務所）
〒341-0024 埼玉県三郷市三郷1丁目13-12 MTビル2F
電話：048-960-0591 Fax：048-960-0592

「これからも一緒に」

富士ゼロックス埼玉端数倶楽部

本誌『福玉便り』は、創刊以来、2年以上にわたって、富士ゼロックス埼玉のみなさんが、**4,000部フルカラー8頁を毎月すべて無償で印刷**してくださっています。ゼロックスのみなさんのご協力なしには、本誌の発行は考えられません。そこで、どのような方々がどんな思いで作業して下さっているのか、鴻巣に避難中の篠原美陽子さんと、会社におじゃましてきました。(編集部・西川)

●毎月ほんとうにありがとうございます。その貯まったお金でさまざまなボランティア活動の資金にしたり、活動団体に寄付してあります。「ゼロックス埼玉」には、出向している人もふくめて15人の会員がいます。

●社員ボランティア「富士ゼロックス端数倶楽部」とはどんな倶楽部ですか？

社員ボランティア団体です。会員は毎月の給与と賞与の100円未満の「端数」と1口100円単位で任意の額を拠出しています。

●福玉便りの印刷以外に普段どんなボランティアをしていますか？

視力が非常に低い(弱視の)児童・生徒のために拡大写本の作成にシヨールームのコピー機を貸し出しています。他には、植林活動やスペシャルオリンピックスに多数の会員がボランティアで参加。ペットボトルのキヤップ集めもしています。

●「福玉便り」の作業はどんなふうにされていますか？

会社のシヨールームのコピー機を使って印刷作業をしています。労働時間内に仕事をしながら



左から、富士ゼロックス埼玉端数倶楽部の村田豊さん、上岡直樹さんと鴻巣“想い”篠原美陽子さん

らということ、会社が認めるかたちになっています。紙は、端数倶楽部で貯まった募金で購入しています。コピー(印刷)代は会社の協力を得ています。

●作業は大変ではないですか？

忙しいときや、トラブルがあったときは、ちよつと大変ですが、なんとかやっています。先日も、ホチキスが2つ留めのところ、1つしか留まっていなかったり途中で気がついて、やりなおしたりしました(笑)

●とまっていれば、1つでも大丈夫でしたよ

いやいや、そこはプロとして許せません(笑)

●お読みいただいていたかがですか？

印刷しながら読ませていただいています。印刷をはじめた2年前と誌面が少しずつ変化しているのを感じています。最初は物資ですが、いまは情報が求められているんですよ。

●社員がボランティアをする意味ってどんなところにあるのですか？

ふだんの仕事の中では、決して出せないような方にお会いできると、刺激になりますし、いろいろな視点を得ることで、仕

事にも活かしていけます。また、この会社の社員であるということに誇りをてる、という人もいます。会社で募集されるというってみよつかないという人はいます。きっかけがあればいいことなのだと思います。

●ボランティアをしていく中で、気をつけていらっしゃることはありますか？

無理に気合をいれないことですかね(笑)。「端数」とはそういう意味もあります。いっさい強制しないということをお願いに、息長く活動ができるようにと思っています。

●最後に読者のみなさんにひとこと

これからもできるかぎりですが、続けていきます。一緒にやっ

ていきましょう(^^)

●ありがとうございました。

「けいひねび春のビール祭り」
 新都心のけやき広場でビール祭りが開かれます。そこで、5月30日(金)18時から有志で飲み会をします。一緒に飲みませんか。薄井までご連絡ください。080-5532-7380

ありがとうございます！ ありがとうございます！

本誌の印刷は、『富士ゼロックス埼玉端数倶楽部』(社員ボランティア)の皆様



に全面的にご協力いただいております。



福玉便りのお届け作業を一緒にやっ

くださる方、大募集
6月20日(金)13:30-16:00ごろ可能な時間。場所:埼玉労福協
 福玉便りの発送は、編集部の方々がたばたやっています。手も動きますが、口のほうが多く動いていると言われてます。もし、一緒に作業して下さる方がいらっしゃいましたら、ご連絡おまちします。労福協048-833-8731まで。



月	火	水	木	金	土	日
2	3	4	5	6	7	8
■さいたま市 福玉ママカフェ 10:30~ With You さいたま 080-6721-6858 (谷居さん)			■杉戸町 つつじの里サロン 13:30~15:30 杉戸住宅 6-301 毎週木曜★ 0480-31-0055 (つつじの里サロン事務局) ■加須市 双葉町老人クラブ女性会&さいがい・つながりカフェ 9:30~11:30 いきいきサポートセンター 080-5532-7380 (薄井さん) ■鳩山町 鳩の集い 10:00~12:00 JAXA鳩山宿舎 108号室 049-296-1241 (鳩山町健康福祉課)		■上尾市 東日本大震災に咲く会 ひまわり会合 10:00~12:00 シラコバト団地 第一集会所 048-607-6723 (団地自治会事務所) 080-3091-6215 (橘さん) ■加須市 かそびばプレーパーク 10:00~15:00 騎西中央公園 080-6721-6858 (谷居さん)	■羽生市 羽生つながりカフェ 二胡とオカリナの 演奏会 13:00~15:00 パール羽生 080-5532-7380 (薄井さん)
	9	10	11	12	13	14
	■所沢市 第6回福玉 交流サロン 048-833-8731 (埼玉労福協) 詳細→1ページ		■加須市 双葉町民によるボランティアカフェ ミニコンサート、みんなで歌おう、他地域の方による避難 生活トーク 10:00~15:00 いきいきサポートセンター 048-829-7400(SSN) ■草加市 つながりの会 東北復興支援販売 10:30~17:00 物産・観光情報センター 048-932-6770 (草加市社協地域福祉担当) ■さいたま市 さいがいつながりカフェ 11:00~15:00 WithYou さいたま4F 和室 048-601-3111 ★		■上尾市 映画「原発被災地になった故郷への旅~ 福島県南相馬市~」上映会 13:30 開場シラコバト 団地第一集会所 048-607-6723 (団地自治会 事務所) 080-3091-6215 (橘さん) ■新座市 新座さいがいつながりカフェ 13:00~16:00 国家公務員宿舎1号棟1階集会所 090-2402-9155(谷森さん) 080-6023-2799(福地さん) ■さいたま市 見沼田んぼ体験説明会 田植 9:00~12:00 048-834-2052 (ハンスオン埼玉)	■さいたま市 進学教育説明会 15 14:00~16:30 ときわ会館5階 中ホール 048-833-8731 (埼玉労福協) →1ページ ■さいたま市 見沼田んぼ体験 説明会 田植 9:00~12:00 048-834-2052 (ハンスオン埼玉) ■越谷市 ひだまり広場 12:30~16:30 ほっと越谷 090-5829-6670 (矢澤さん)
	16	17	18	19	20	21
	■久喜市 お茶こふるさと会 10:00~12:00 ネット21久喜事務所 090-6855-7140 (木幡さん) ■さいたま市 埼玉訴訟集會・ 相談会 14:00~さいたま地裁 詳細→6ページ		■鳩山町 鳩の集い 10:00~12:00 JAXA鳩山宿舎 108号室 049-296-1241 (鳩山町健康福祉課) ■川口市 ひまわりの会 やすらぎ会館 10:00~ おしゃべりサロン 12:45~ 布ぞり作り (要申込) 080-5431-0123 (島田さん)	★	■加須市 双葉歌う会 13:30~ 寄り添い ステーション騎西 090-1650-2874 (富沢さん) ■坂戸市・鶴ヶ島市・川崎市 ミミカフェ 10:00~ BBQをします! JUNホール (川崎市) 070-6651-9259 (伊藤さん) ■加須市 かそびばプレーパーク 10:00~15:00 騎西中央公園 080-6721-6858 (谷居さん)	■所沢市 青空あおぞら 22 13:30~16:00 新所沢公民館 048-829-7400(SSN) ■ふじみ野市 おあがんなんしよ 定例サロン (じっくり語ろう) 13:00~16:00 フクトピア 090-5345-8408 (松館さん) ■鴻巣市 賠償説明会 10:00~12:00 個別相談会 13:00~ 鴻巣市市民センター 345shinohara@ezweb.ne.jp (篠原さん)
	23	24	25	26	27	28
	■春日部市 春日部つながりカフェ (司法書士による相談対応可) 13:30~16:00 コーププラザ 春日部3F 第2会議室 048-829-7400(SSN)		■さいたま市 さいがいつながりカフェ 11:00~15:00 WithYou さいたま4F 和室 048-601-3111	★	■さいたま市 つながろう! 放射線から 避難したママネットの埼玉 13:00~17:30 コーププラザ浦和 bjskr146@yahoo.co.jp (木村さん) ■加須市 ぴえろの遊び広場・ホットサロン 10:00~14:00 騎西コミュニティセンター (臨床発達心理士会) ■入間市 茶摘み (埼玉労福協) 詳細→1ページ	■さいたま市 福玉会議 10:00~リーダー会議 13:30~合同会議 ときわ会館5階ホール (埼玉労福協)
30	1	2	3	4	5	6
			■加須市 双葉町老人クラブ女性会& さいがい・つながりカフェ 9:30~11:30 いきいきサポートセンター 080-5532-7380 (薄井さん)		■上尾市 東日本大震災に咲く会ひまわり会合 10:00~12:00 シラコバト団地第一集会所 048-607-6723 (団地自治会事務所) 080-3091-6215 (橘さん) ■加須市 かそびばプレーパーク 10:00~15:00 騎西中央公園 080-6721-6858 (谷居さん)	■坂戸市・鶴ヶ島市・川崎市 ミミカフェ 10:00~ JUNホール (川崎市) 070-6651-9259 (伊藤さん)
	7	8	9	10	11	12
	■加須市 7ラワー アレンジメント教室 「ふれあいの会」 13:30~寄り添い ステーション騎西 090-1650-2874 (富沢さん)		■さいたま市 さいがいつながりカフェ 11:00~15:00 WithYou さいたま4F 和室 048-601-3111 ★		■上尾市 向原団地被災者の会 18:00~ 向原団地集会所 070-5322-2922 (富永さん) ■新座市 新座さいがいつながりカ フェ 13:00~16:00 国家公務員宿舎1号棟1階集会所 090-2402-9155(谷森さん) 080-6023-2799(福地さん) ■さいたま市 見沼田んぼ体験説明会 かき氷大会 9:00~12:00 048-834-2052 (ハンスオン埼玉)	■ふじみ野市 おあがんなんしよ13 七夕飾りづくり (本音を短冊に・ 軽食あり) 10:00~16:00 フクトピア 090-5345-8408 (松館さん)
	14	15	16	17	18	19
	■川口市 ひまわりの会 やすらぎ会館 10:00~ おしゃべりサロン 13:00~ (企画中) 080-5431-0123 (島田さん)		■所沢市 オールスター戦 18:00~プレーボール 西武ドーム球場 (埼玉労福協) 詳細→1ページ	★	■加須市 双葉歌う会 13:30~ 寄り添い ステーション騎西 090-1650-2874 (富沢さん) ■加須市 かそびばプレーパーク 10:00~15:00 騎西中央公園 080-6721-6858 (谷居さん)	■越谷市 ひだまり広場 20 12:30~16:30 ほっと越谷 090-5829-6670 (矢澤さん)
	21	22	23	24	25	26
	■さいたま市 さいがいつながりカフェ 11:00~15:00 WithYou さいたま4F 和室 048-601-3111					■あきる野市 サマーランドご招待 (埼玉労福協) 詳細→1ページ
	28	29	30	31		
	福玉便り 8月号 発送作業 ときわ会館 (埼玉労福協)					



福玉便り
お送りします。
ご希望の方には、
本紙を郵送でお送りします。

『福玉便り』編集委員会
連絡先: (一社) 埼玉労働者福祉協議会
電話 048-833-8731
メール: fukutama@431279.com

こちらのサイトにも情報があります。
しんさいつなぐ
<http://431279.com>
(SSN: 震災支援ネットワーク埼玉)

福玉 募金 を呼びかけています。
埼玉県内に避難されている福島・東北の方々と、
互いに支えあう関係を、これからも。